

2-7 購買管理

AToMsQubeの購買管理では、所要量計算の結果、リリース範囲（オーダー納期確定範囲）にある納期に関して、発注オーダー作成及び注文書の発行を行います。さらに、注文書を発行した発注オーダーの管理、発注オーダーの納品受入報告、及び、検収処理を行います。

※発注先的能力等を考慮した、同一品目の発注を複数社に並行して発注する自動並行発注機能は、このパッケージでは付加していません。手作業による発注作業になります。

※注文書の発行は、2種類あります。

- ・購買品目については、所要量計算後、「発注オーダーリリース」→「注文書発行」により発行します。
- ・工程外注品については、内製管理で作業指示処理後、「工程外注発注オーダーリリース」→「注文書発行」により発行します。

◇◆工程外注の扱い方◆◇

- ・一般的には、社内の工程の一部を社外工に依頼する場合に使用されるもので、社内工程の一部として管理されるものです。
 ※品目マスタ工順情報の外注区分に”P”を設定する事で工程外注扱いになります。
- ・取引の手続きとしては、生産計画から手配される購買品同様に、注文書を発行し、加工完了に伴う受入・検収処理を行います。
- ・しかし、社内工程としての扱いですので、その工程の部品在庫を管理することはできません。

また、所要量計算に基づかない部品表管理品目の個別発注処理や、部品表管理品目でない物の発注処理から納品受入・検収処理も行えます。

購買情報（注文情報、受入情報、検収情報、内示情報）のEDI機能もあります。

※仕入先マスタの「WEB-EDI対象区分」にチェックと「対象データ種類」を指定する事で可能になります。

※購買情報のEDI機能説明は、第2章-13「WEB-EDI（パートナー）」を参照下さい。

購買管理には、下記の14個の機能があります。

<発注業務>

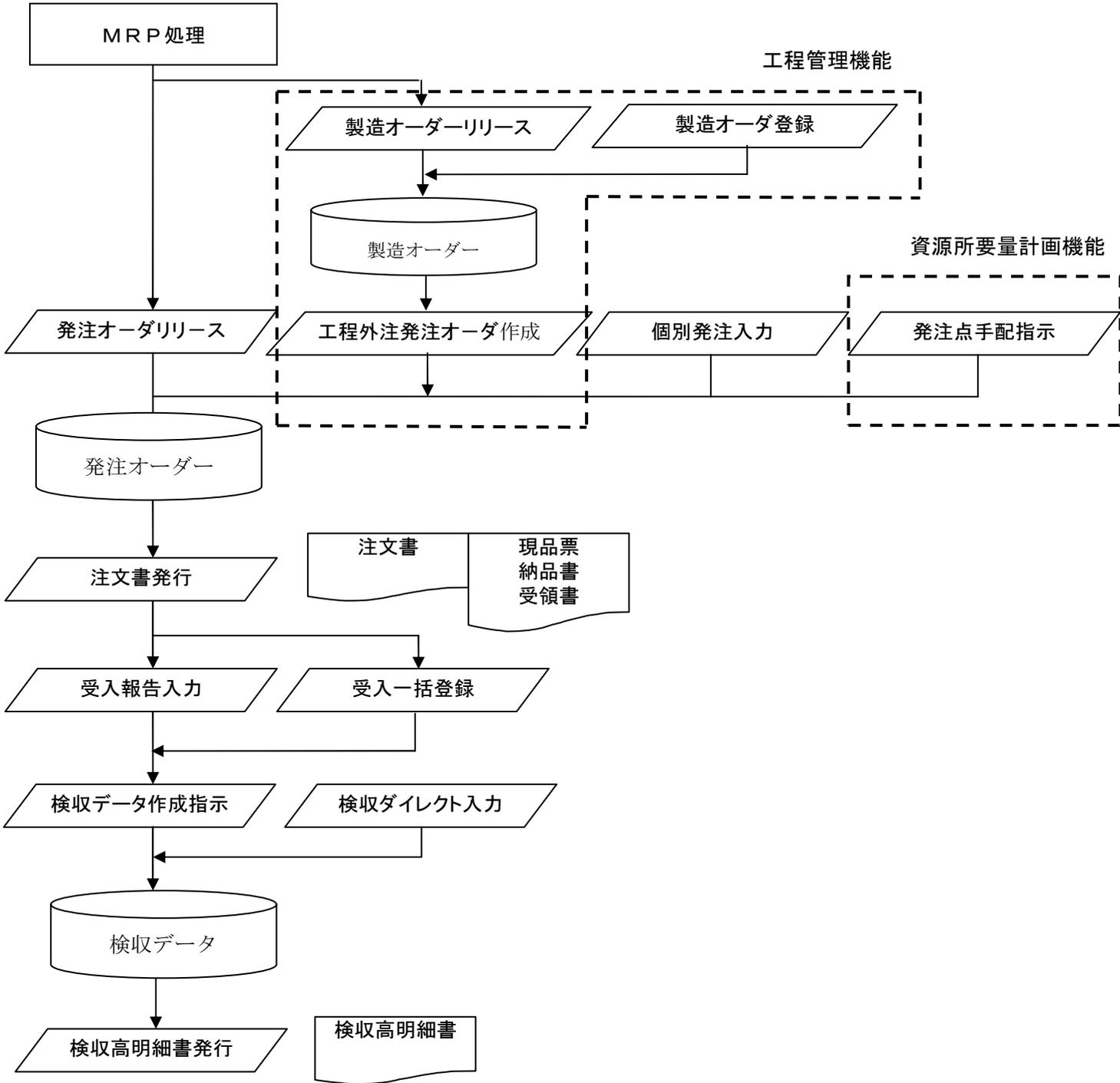
- 発注オーダーリリース
- 工程外注発注オーダー作成
- 個別発注入力
- 発注オーダー一括登録
- 発注情報照会
- 内示データ照会
- 注文書発行

<受入業務>

- 受入報告入力
- 受入一括登録
- 受入明細照会
- 検収データ作成指示
- 検収ダイレクト入力
- 検収明細照会
- 検収高明細書発行

その他関連機能として、「仕入単位設定機能」が使用出来ます。

<発注オーダーリリースから注文書発行、受入・検収までの処理の流れ>



発注オーダーリリース

MRP処理で作成された計画オーダーを元に（オーダー状況がP：計画のデータ）、リリース条件に合致した計画データを発注オーダーとして作成します。

※仕入基準情報が設定されていない計画データも画面には表示されますが、仕入先、仕入先名称、単価などが空白で表示され、リリースボタンを押下しても処理されません。

この様なエラーデータが存在した事は、運用管理「ジョブ実行履歴照会」で件数表示されます。

再度同一条件で検索を行なうと、同じデータが表示されますので未発注にならない様に注意下さい。

※工程外注用発注オーダーは当画面では作成されません。

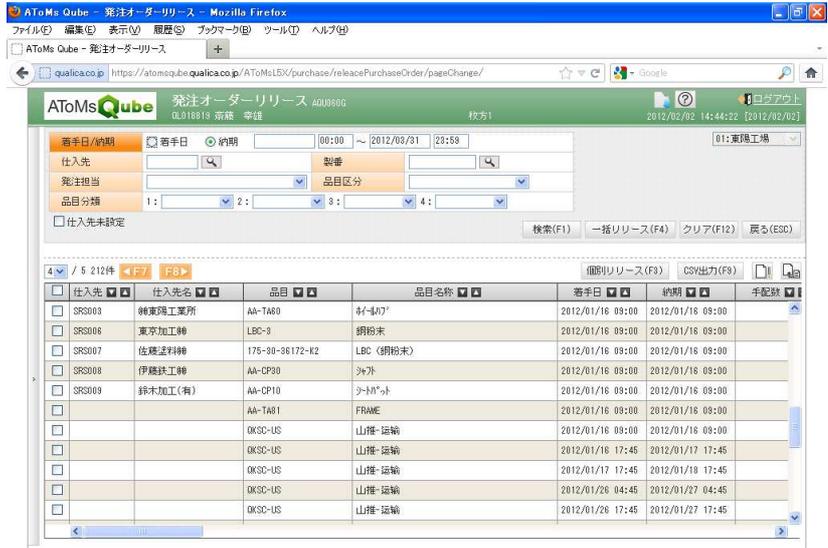
内製管理「製造オーダー個別リリース」後に「工程外注発注オーダー作成」を実施して下さい。

※この処理を実施しても、注文書発行はされません。「注文書発行」の実施が必要です。

※MRP展開条件設定で一括指定をすると「発注オーダーリリース」、「注文書発行」を自動で行うことも可能です。

※発注オーダーは一度作成を行なうと、削除する事は出来ません。

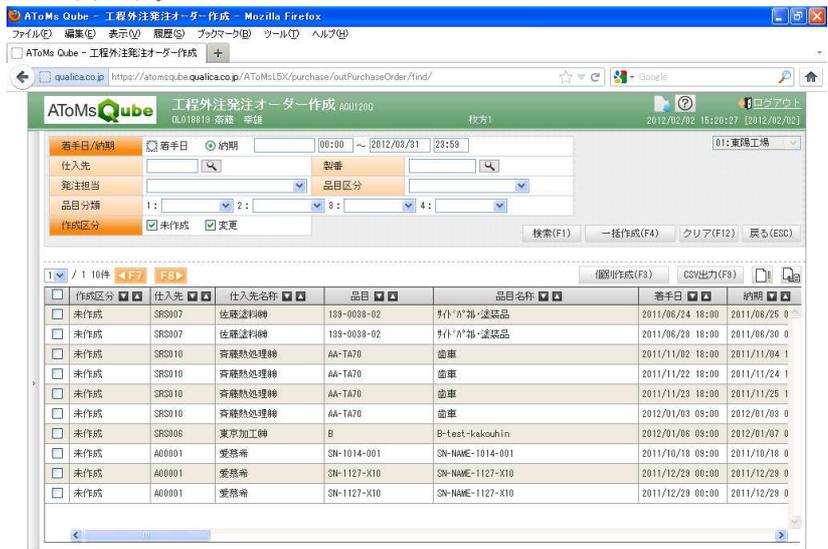
不要な発注オーダーは「発注状況照会」で「打切り指示」を行ないます。



工程外注発注オーダー作成

「製造オーダーリリース」で作成した作業指示データの中で、工程外注手順を設定されているデータを工程外注発注オーダーとして作成します。

※製造オーダーが作成されている事が必要です。

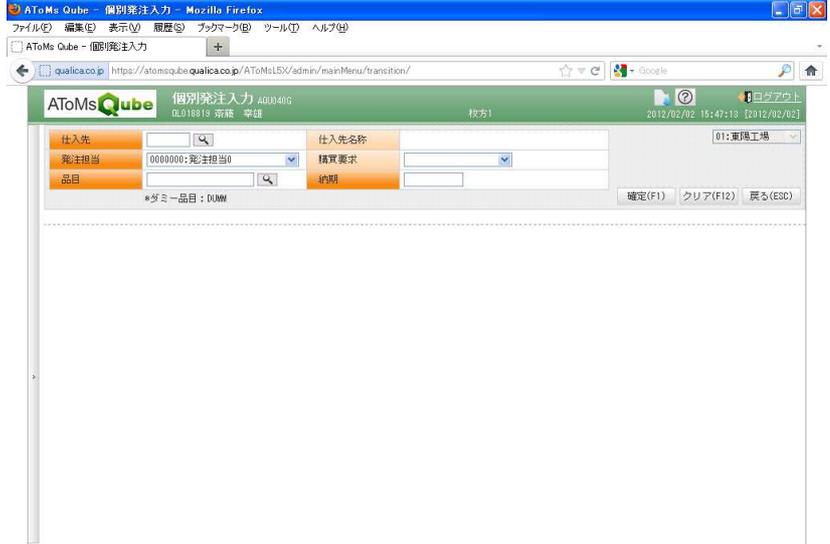


個別発注入力

MRP処理で作成される計画データからの発注とは別に、必要な品目を個別登録して発注を行いたい場合に使用します。

対象品目は仕入先品目マスタに登録されている品目か、間接材の様なマスタ登録をしていないデータの発注が可能です。

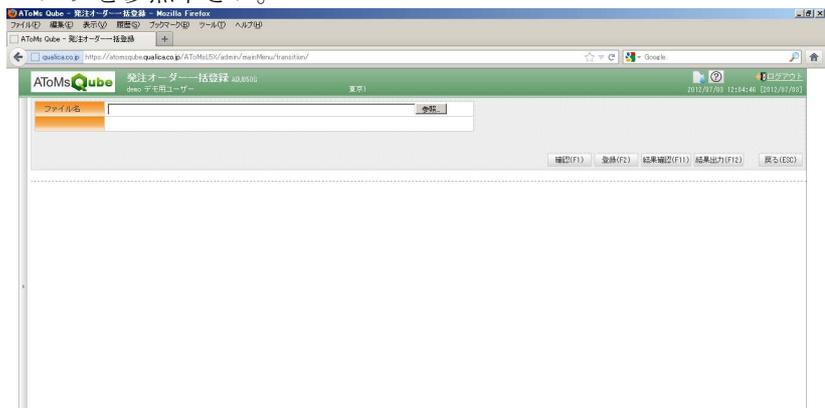
※間接材の場合は、システムパラメータ「間接材ダミーコード」に発注オーダで作成する品目を事前登録しておきます。



発注オーダー一括登録

AToMsQube 外で作成した注文データの CSV ファイルからの一括登録を行います。

※CSVレイアウトはオンラインヘルプを参照下さい。



発注情報照会

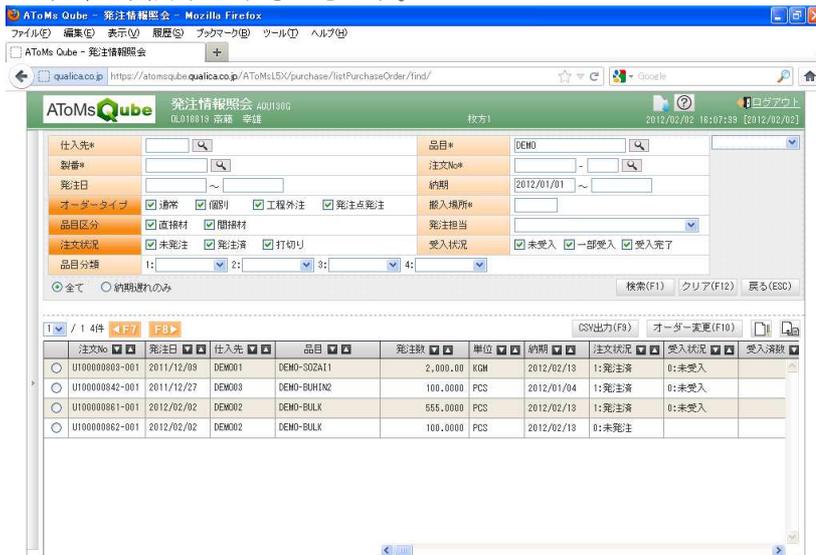
所要量計算で作成された発注オーダー、所要量計算後に内製管理を経由して作成された工程外注の外注オーダー、及び、個別発注で作成したオーダー、さらに消耗品・副資材の発注オーダーをすべて検索する事ができます。

発注したオーダーをキャンセルする場合は、検索後に「オーダー変更」ボタンを押下後に表示される「発注オーダー変更」の「打ち切り」ボタンで行う事になります。

※発注オーダーの注文状況

- 0：未発注（発注オーダーをリリースした状況で、注文書未発行状況）
- 1：発注済（注文書発行済み状況）
- 9：打ち切り（発注オーダーをキャンセルした状況）

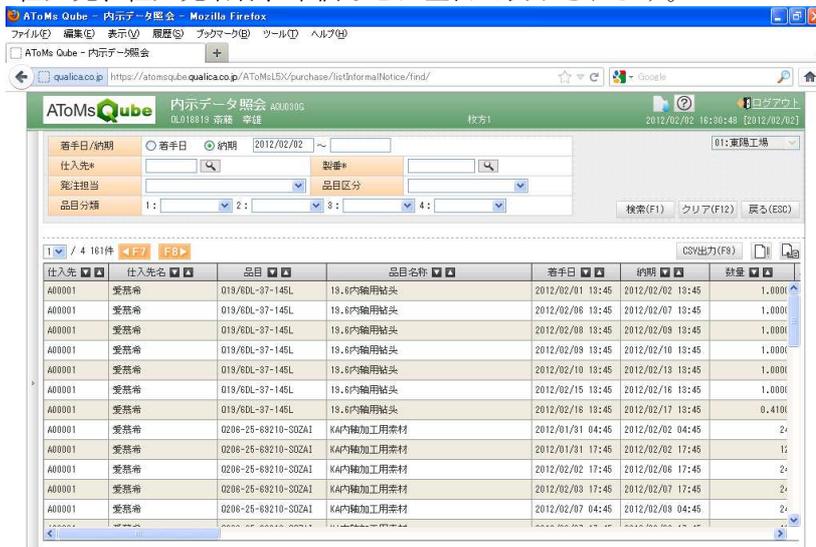
発注先の指定や納期範囲の指定ができ、進捗状況（未納/受入済み）も選択可能です。納期管理や、問題発生時の調査など、ニーズに応じた様々な使用ができます。また、画面検索した内容を、CSVファイル出力する事もできます。



内示データ照会

MRP処理で作成された計画オーダー（正味所要量データ）に仕入先情報を付加したデータで表示します。

仕入基準情報が設定されていない計画データも画面には表示されますが、発注オーダーリリース画面と同様に仕入先、仕入先名称、単価などは空白で表示されます。



注文書発行

全ての処理で作成された発注オーダーについて注文書（PDF形式）を発行します。

（発注オーダーリリース、工程外注発注作成、個別発注、発注点手配指示で作成された発注オーダー対象）

※注文書（PDF）は、運用管理「帳票管理」画面で見る事が出来ます。

注文書は一括発行でも、担当者毎に個別発行する事も出来ます。

※システムパラメータ「注文書分割単位」で注文書作成単位を決定します。

PLANT：工場コードごとにPDFを分割

HCTTS：発注担当ごとにPDFを分割

SRSCD：仕入先ごとにPDFを分割

※システムパラメータ「注文書形式」で注文書書式を決定します。

GRP：多品一様（GROUPの略）

IDV：一品一葉（INDIVIDUALの略）

注文書を発行すると同時に、現品票・納品書・受領書もセットで出力されます。

※注文書、現品票・納品書・受領書を発行するかどうかは、仕入先マスタの項目にチェックを行う事で対応可能となります。

注文書をWEB-EDI機能で、仕入先用に取得したIDのみに作成する事が可能です。

この機能を使用する事で、仕入先に注文書を送付しなくても、仕入先は仕入先IDでログインすれば注文書の受領が可能になります。

※仕入先用にログインIDの準備が必要です。

※システムパラメータ「メール管理情報」「注文書メール情報」「納品書メール情報」にも事前登録が必要です。

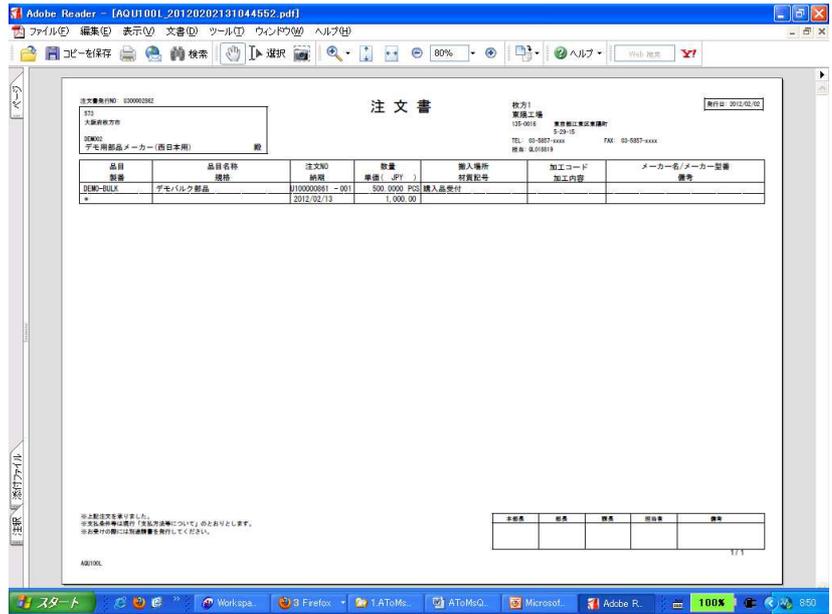
※仕入先マスタ「WEB-EDI対象区分」にもチェックが必要です。さらに各データ出力にチェックを行えば、夜間バッチ処理にて対象データが作成されます。

外注注文書発行処理は、工程外注扱いですので、内製管理でのオーダーリリース後に発注処理を実行する必要があります。

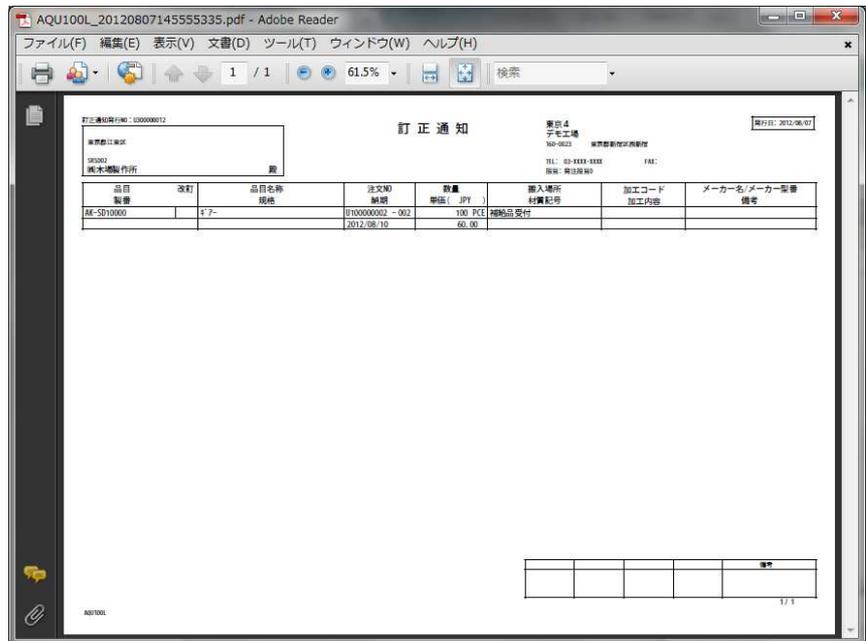
一度注文書を発行した発注オーダーを変更した場合は、注文書再発行又は訂正通知の帳票を発行する事が可能です。

訂正通知は帳票書式は同じで、タイトル名が違います。

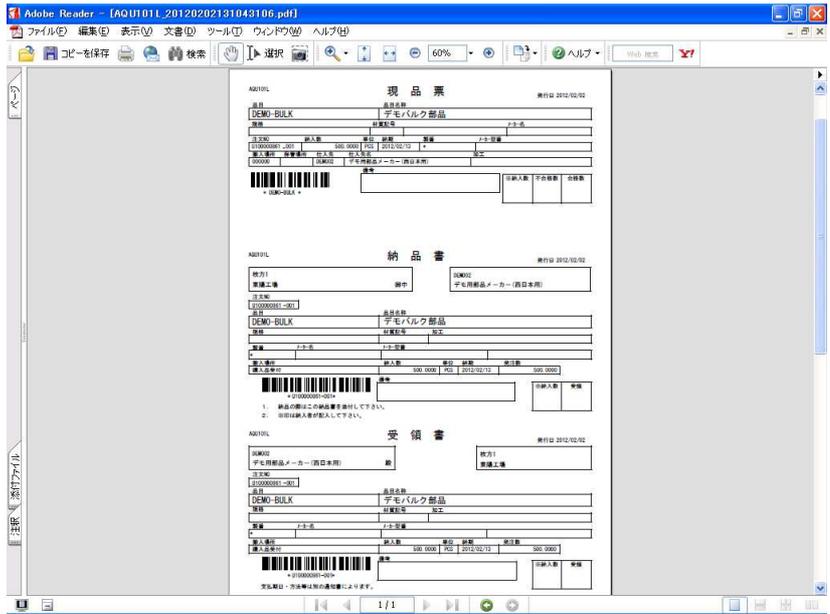
●注文書（他品一葉）



●訂正通知



● 現品票・納品書・受領書



受入報告入力

仕入先からの受入検収報告の入力は、**AToMsQube**の納品書又は注文書の注文 NO に基づいて行います。納品書の注文NOをバーコードで読みとる事により容易に報告が行えます。

受入可能数は、発注数から（良品数＋不良数）を引いた残数が、受入可能数上限となりますがシステムパラメータ「発注数以上の受入区分」を「1：可能」にすると、発注数以上の受入が可能になります。

内部機能としては、受入報告と同時に当該品目は在庫入庫され、検収データとして計上されます。

※受入、受入戻しを行なう場合は、バッチ処理「締め経理年月」処理が実行された経理年月以前の日付では処理が出来ませんので注意して下さい。

注文No	U100000861-001			01: 東陽工場
<input type="button" value="検索 (F1)"/> <input type="button" value="クリア (F12)"/> <input type="button" value="戻る (ESC)"/>				
仕入先	DEMO02	仕入先名称	デモ用部品メーカー(西日本用)	
品目	DEMO-BULK	品目名称	デモバルク部品	
納期	2012/02/19	オーダータイプ	0: 発注点発注	製番 *
発注数	555.0000 PCS(4)	直送産区分	0: しない	搬入場所 000000
加工コード		加工内容		
受入状況	0: 未受入	受入回数	0	最終受入日
受入深数	0.0000	良品数	0.0000	不良数 0.0000
受入日	2012/02/03			
良品数	555.0000			
不良数	0.0000			
ロットNo				
<input type="button" value="登録 (F2)"/>				

受入一括登録

CSV ファイルから受入情報の一括登録を行うことができます。

※CSVレイアウトはオンラインヘルプを参照下さい。

受入明細照会

納品受付（在庫計上）、納品受付戻し（在庫戻し）を行なった内容を表示します。

納品受付戻しはこの画面から行う事が出来ます。

明細表示されたデータから現品票の発行が可能です。（注文書発行時とは違うレイアウトです）

納品受付戻しを実施したデータから再納品用現品票の発行が可能です。

（注文書発行時のレイアウトと同じです）

仕入先	品目	注文No	受入処理区分	受入日付	受入数	良品数	不良数	戻し理由	戻し備考
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	0:通常受入	2011-05-11	80.0	80.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	1:訂正入力	2011-06-22	-80.0	-80.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	0:通常受入	2011-06-22	30.0	30.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	0:通常受入	2011-06-22	30.0	30.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	1:訂正入力	2011-06-22	-10.0	-10.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	1:訂正入力	2012-04-25	-3.0	-3.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000458-001	1:訂正入力	2012-06-05	-1.0	-1.0	0.0	01:理由01	02:の不具合
SRS001	AA-TA50	U100000523-001	0:通常受入	2011-06-22	1.0	1.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000524-001	0:通常受入	2011-06-22	1.0	1.0	0.0		
SRS001	AA-TA50	U100000525-001	0:通常受入	2011-06-22	1.0	1.0	0.0		

検取データ作成指示

納品受付データ、納品受付戻しデータから、仕入先に支払いを行なう為の検取データを作成します。

発注時の単価から、仕入先への支払い単価が変更になった場合は、この画面から単価変更が出来ます。

また、受入数量に差異が判明した時には、「受入報告入力」で受付戻しを行なう事が必要です。

表示される日付は、バッチ処理「締め経理年月」処理が実行された経理年月とシステムパラメータ

「経理日」から自動表示されます。

検取データ作成指示で作成した検取データの戻し処理は不可です。検取には充分注意をして下さい。

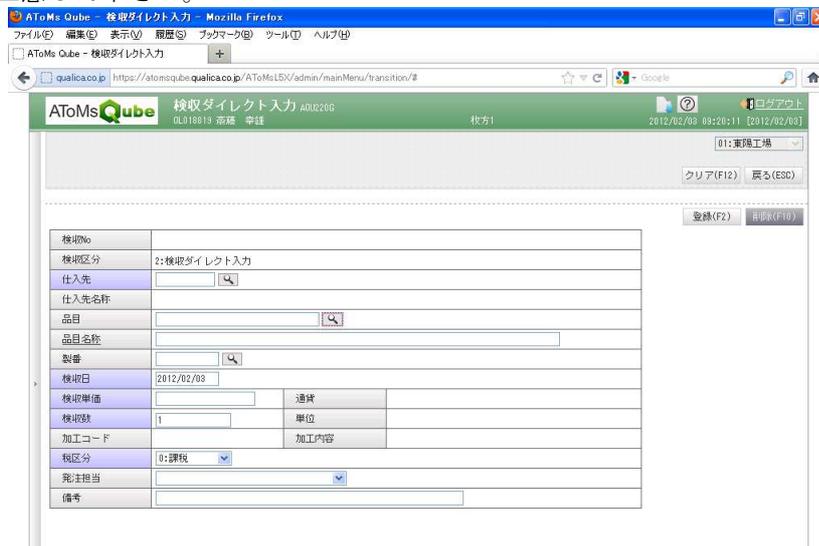
仕入先	品目	受入日	検取日	検取数	単位	単価区分	検取単価	通貨	製産
SRS005	BULK	2011/11/03	2011/11/03	100	PCE	0	1.50	JPY	*
SRS005	BULK	2011/11/03	2011/11/03	240	PCE	0	1.50	JPY	*
SRS005	BULK	2011/11/03	2011/11/03	-140	PCE	0	1.50	JPY	*

検取ダイレクト入力

発注オーダの受入以外や物品購入以外の理由で、仕入先に支払いを行わないといけない場合に検取データをダイレクト作成する事が出来ます。

また、「検取データ作成指示」で検取データを作成後に単価変更を行なう場合にも使用可能です。この場合は、「検取明細照会」画面から検取データを指定する事により当画面が表示されます。

※バッチ処理「締め経理年月」処理が実行された経理年月以前のデータでは処理が出来ませんので注意して下さい。

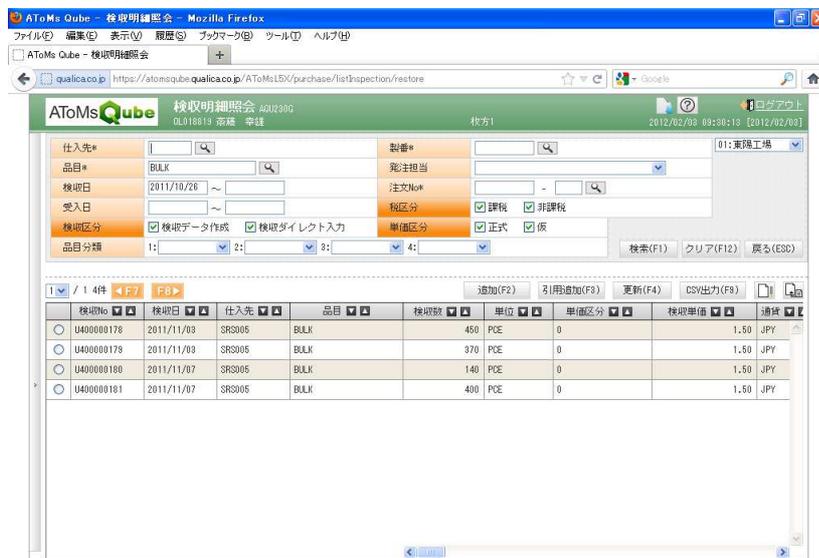


検取明細照会

作成した検取データを表示します。

検取データの単価変更や支払いを行なう為の検取データ追加も当画面から「検取ダイレクト入力」に画面遷移して対応が可能です。

※単価変更を行なった場合は、当初の検取データ赤伝データと単価変更後の検取データの2レコードがセットで作成されます。



検収高明細書発行

作成した検収データに基づき、検収高明細書（PDF）を発行します。

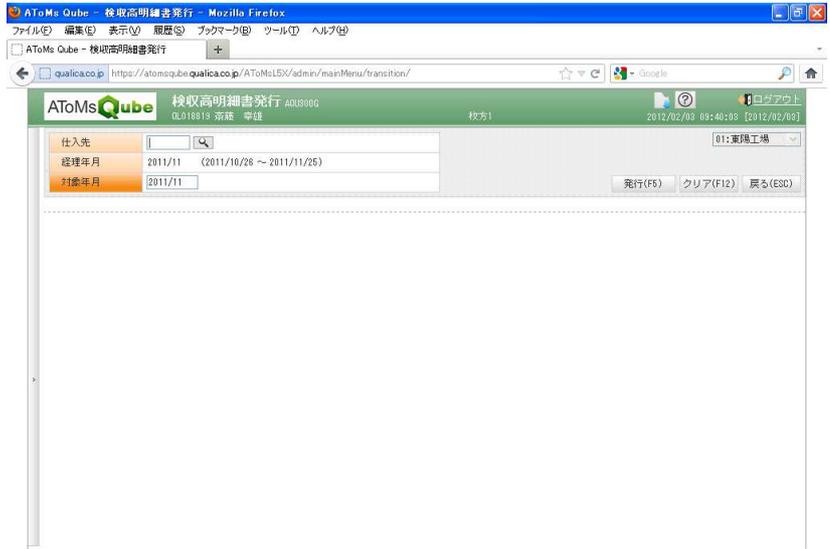
※検収高明細書を発行するかどうかは、仕入先マスタの項目にチェックを行う事で対応可能となります。

発注オーダを発行せずに検収実績のみを「検収ダイレクト入力」で登録したのも対象となります。

正式には、自社の締め日後に前月度を指定して発行しますが、月中に、日付の範囲指定をして発行する事も可能です。

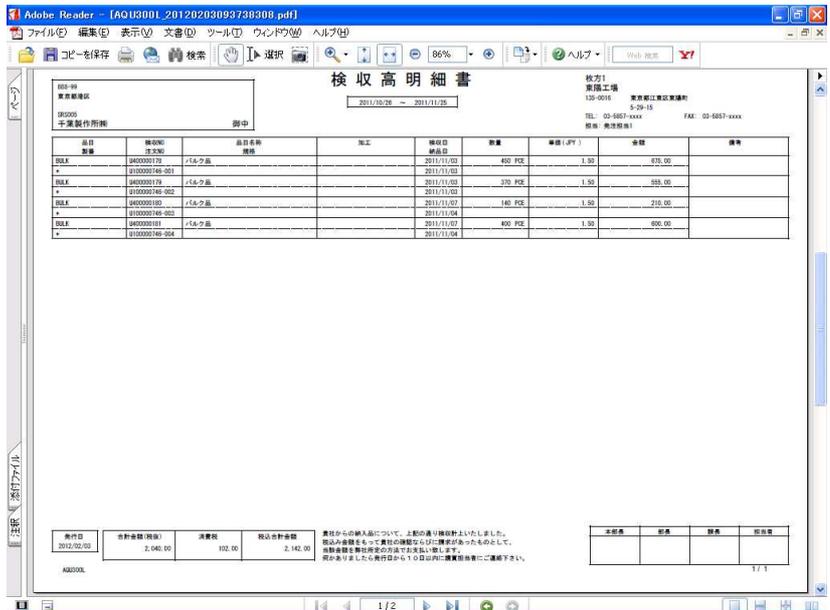
バッチ処理「締め経理年月」処理が実行されるまでは、何度でも処理が可能です。

表示される日付は、バッチ処理「締め経理年月」処理が実行された経理年月の翌月から今月までの年月とシステムパラメータ「経理〆日」から自動表示されます。



javascript:void(0);

● 検収高明細書



<その他機能>

1. 仕入単位の設定

品目・仕入先ごとに仕入単位の設定を行います。(品目仕入マスタで設定します。)

発注オーダーリリース時に発注数を仕入単位へ変換します。

工程外注品のオーダーリリースも同様に仕入単位へ変換を行います。

また、購買管理の各画面、帳票(標準版)において仕入単位の数量が出力されます。

※単位変換機能をご使用される場合は初期設定が必要なため、ヘルプデスクまでご連絡ください。

【マスタ設定例】

・品目の基本単位は数量単位として設定します。(品目基本マスタに設定します)

・品目・仕入先ごとに仕入単位の設定を行います。(品目仕入マスタに設定します。Default は数量単位)

品目	仕入先	数量単位	仕入単位	単価
HIN001	SRS01	PCE	KGM	100

・単位変換の比率の設定を行います。(例：1PCE ⇒ 5KGM) (仕入単位変換マスタに登録)

数量単位	仕入単位	変換比率
PCE	KGM	5

MRP 実行結果 (品目の数量単位で手配数は計算されます)

手配数	数量単位
10	PCE



発注オーダーリリースで、発注数を仕入単位に変換した結果 (工程外注オーダーリリースも同様)

発注数	仕入単位	単価	金額
50 (↑ 10×5)	KGM	100	5,000



注文書、納品書は、仕入単位の発注数(単位変換した結果)で出力します。

① 品目仕入マスタの仕入単位設定



品目基本マスタの数量単位と異なる単位を使用する場合は、仕入単位を変更してください。

※仕入単価は仕入単位あたりの単価となります。数量単位あたりではありませんのでご注意ください。

(例) 単価は、1KGMあたり 100円となります。

品目	仕入先	数量単位	仕入単位	単価
HIN001	SRS01	PCE	KGM	100

② 仕入単位変換マスタ登録

数量単位から仕入単位へ変換する比率を設定します。単位変換では、この比率をもとに計算を行います。仕入先、品目毎に設定することも可能です。

(「単位1」：「単位2」 = 1：「変換比率」)

【設定例1】設定区分：共通

単位1	単位2	変換比率
KGM:キログラム	GRM:グラム	1,000
MTR:メートル	MMT:ミリメートル	1,000

【設定例2】設定区分：仕入先、品目

仕入先	品目	単位1	単位2	変換比率
SRS001	HIN-001	PCE:個、枚、本、台	KGM:キログラム	10
SRS001	HIN-002	PCE:個、枚、本、台	KGM:キログラム	12

■ 仕入先単位変換マスター一覧

仕入先	仕入先名	品目	品目名称	単位1	単位2	有効日	失効日	比率
S2K001	仕入先1	HIN-01	HIN-01	KGM	GRM	01/01/2010	01/01/2015	1,000.0000
S2K001	仕入先1	ITAK-1375-06A	ITAK-1375-06A(外製)	LTR	KGM	01/01/2010	01/01/2015	200.0000
S2K001	仕入先1	ITAK-1375-06B	ITAK-1375-06B(外製)	BX	PCE	01/01/2010	01/01/2015	20.0000
S2K001	仕入先1	ITAK-1376-13A	ITAK-1376-13A(外製)	BX	PCS	01/01/2010	01/01/2015	10.0000
S2K001	仕入先1	ITAK-1376-13B	ITAK-1376-13B(外製)	PC4	MGM	01/01/2010	01/01/2015	100.0000
S2K001	仕入先1	ITAK-1376-14A	ITAK-1376-14A(外製)	MMT	PCE	01/01/2010	01/01/2015	1,000.0000

■ 仕入単位変換マスタ登録

設定区分	<input type="radio"/> 共通 <input checked="" type="radio"/> 仕入先・品目別
仕入先	S2K001
品目	ITAK-1375-06A
単位1	LTR:リットル
単位2	KGM:キログラム (kg)
有効日	01/01/2010
失効日	
比率	200.0000

③ 注文書の数量が仕入単位で出力されるようになりました。

第2章 主要機能

注文書発行NO: U30000514

注文書

クオリカ株式会社(GIT) 発行日: 06/02/2012
原価工場1
undefined 東京都江東区XXXX1

東京都
SZK001
仕入先1 殿

TEL: 0358578132
担当: 発注担当1 FAX: undefined

品目 製番	改訂	品目名称 規格	注文NO 納期	数量 単価(JPY)	搬入場所 材質記号	加工コード 加工内容	メーカー名/メーカー型番 備考
DM0001-01B		品目DM0001-01B 規格1234567890	U100000787 -00 06/30/2012	10 RO 1,000	搬入場所1		

- ④ 納品書・現品票・受領書の数量が仕入単位で出力されるようになりました。
(納品書には仕入単位と数量単位の両方の数量が出力されます。)

AQU101L

現品票

発行日 06/02/2012

品目 DM0001-01B	改訂	品目名称 品目DM0001-01B
規格 規格1234567890	材質記号	F-B-名
注文NO U100000787 -001	納入数 100	単位 PCE
納期 06/30/2012	製番	F-B-型番
搬入場所 01	保管場所 SZK001	仕入先名 仕入先1
加工	加工	
次工種部門	備考	
		※納入数 不合格数 合格数
 <p>* DM0001-01B *</p>		<p>納入数 (仕入単位): 10 RO</p> <p>※ 納品日 年 月 日</p>

AQU101L

納品書

発行日 06/02/2012

クオリカ株式会社(GIT) 原価工場1	御中	SZK001 仕入先1
注文NO U100000787 -001		
品目 DM0001-01B	改訂	品目名称 品目DM0001-01B
規格 規格1234567890	材質記号	加工
製番	F-B-名	F-B-型番
搬入場所 搬入場所1	次工種部門	納入数 10
		単位 RO
		納期 06/30/2012
		発注数 10
備考		※納入数 受領
 <p>* U100000787-001*</p> <p>123456789012345678901234567890123456789012345678901 123456789012345678901234567890123456789012345678901</p>		※ 納品日 年 月 日

AQU101L

受領書

発行日 06/02/2012

SZK001 仕入先1	殿	クオリカ株式会社(GIT) 原価工場1
注文NO U100000787 -001		
品目 DM0001-01B	改訂	品目名称 品目DM0001-01B
規格 規格1234567890	材質記号	加工
製番	F-B-名	F-B-型番
搬入場所 搬入場所1	次工種部門	納入数 10
		単位 RO
		発注数 10
備考		※納入数 受領
 <p>* U100000787-001*</p> <p>123456789012345678901234567890123456789012345678901</p>		※ 納品日 年 月 日

- ⑤ 受入報告入力画面での良品数、不良数は仕入単位で入力する。
また、受入明細照会画面で受け入れ戻しをする場合も同様に、戻し数を仕入単位で入力する。

受入一括登録のアップロードファイルの良品数、不良数も仕入単位で入力してください。
 ※注文書、納品書・現品票・受領書に印字している単位で入力してください。

- ⑥ 検収データ作成指示で入力する検収単価は、仕入単位あたりの単価を入力する。
- ⑦ 検収高明細書の数量は仕入単位で出力される。

東京都 SZK001 仕入先 1		検収高明細書 06/01/2012 ~ 06/30/2012		クオリカ株式会社(GIT) 原価工場 1 undefined 東京都江東区XXX1 TEL: 0358578132 FAX: undefined 担当: 発注担当 1				
品目 製番	検収NO 注文NO	品目名称 規格	加工	検収日 納品日	数量	単価(JPY)	金額	備考
DM0001-01R	U400001031	品目DM0001-01R		06/04/2012	10.80	1,000	10,000	
	U100000787-001	規格1234567890		06/04/2012				

- ⑧ 個別発注入力画面で入力する発注数は仕入単位で入力する。
 発注一括登録画面のアップロードファイルの発注数も仕入単位で入力する。
- ⑨ 購買管理の以下の画面の一覧項目と CSV 出力項目に在庫管理の単位(品目基本マスタの数量単位)と仕入単位が出力されます。

【単位】

- 単位(変換前)・・・品目基本マスタの数量単位
- 単位(変換後)・・・品目仕入マスタの仕入単位

【数量(発注数、検収数など)】

- ○○数(変換前)・・・数量単位の数量
- ○○数(変換後)・・・数量単位の数量

【対象画面】

- 発注情報照会
- 内示データ照会
- 注文書発行
- 受入明細照会
- 検収データ作成指示
- 検収ダイレクト入力
- 検収明細照会

- ⑩ 発注点手配指示画面で仕入単位を入力することが可能です。
 ただし、一括発注する場合は、品目仕入マスタの仕入単位で登録します。
 尚、本画面で出力及び入力する数量は、在庫管理の単位(品目基本マスタの数量単位)です。

